

## 実績報告書

届出者	住所	茨木市島3丁目5番48号	氏名	アートバンライン株式会社 代表取締役 寺田 寿男
特定事業者の主たる業種		44道路貨物運送業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		一般貨物自動車運送事業。 貨物と引越貨物をそれぞれの需要期に応じて輸送を行っている。 <span style="float: right;">商業</span>		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
---------	---------------------------------

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	10,435 t-CO <sub>2</sub>	12,987 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	10,464 t-CO <sub>2</sub>	13,016 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)	
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-17.4%	-24.5%	%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-17.4%	-24.4%	%	
吸収量による削減率		%	%	%	%	

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>車両の増車及び増員で、前年度より増加したが、古い車両の新車への入替が進みドライバーのエコドライブの認識の上昇に伴い、車両一台ごとの削減率は上がっていると考えます。倉庫稼働時間が増え照明使用量が増加した。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

本運動の意義を本社、大阪支店・大阪北支店・舞洲支店の全従業員に告知。毎月のトラックの燃料合計及び電気代の実績を確認し、前年度の数値と比較して参ります。その数値を社内に公表、更なる協力を呼び掛けて目標を達成して参ります。

## 実績報告書

<b>届出者</b>	<b>住所</b>	大阪市北区豊崎3丁目2番1号 淀川5番館4階	<b>氏名</b>	社会医療法人 愛仁会 理事長 内藤 嘉之
<b>特定事業者の主たる業種</b>		83医療業		
<b>該当する特定事業者の要件</b>		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
<b>事業の概要</b>		急性期病院を核に、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等各種事業所を擁し、互いに連携を図りながら総合的医療活動を行っている。 さらに看護助産専門学校等の活動により、地域の各機関との連携のもと、医療・介護・保健・福祉・教育を包括した地域トータルヘルスケアを行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

<b>(1)計画期間</b>				
2016年	4月	1日	～	2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	13,798 t-CO <sub>2</sub>	14,386 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	14,797 t-CO <sub>2</sub>	15,682 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-2.0%	-4.3%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-3.8%	-6.0%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>平成29年4月には高槻病院が建替え工事を終え、全面営業を開始した。7月には千船病院が新築移転工事を終え全面営業を開始した。大規模な主要病院が建替え・新築移転を終え営業を開始したことが削減に至らなかった大きな原因であると考えられる。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

一部施設に電気・ガス・水道などのエネルギー使用量が一目でわかるシステムや、温度の一括管理・使いすぎの防止など外部業者を入れて節減に取り組んでいる。

使用量においては、前年と同じく、定期的な本部への進捗状況報告体制をとり、さらなる改善対策を検討推進していきたい。

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府大東市明美の里町1番71号	氏名	株式会社 アカカベ 代表取締役会長 皆川 友夫
特定事業者の主たる業種		56各種商品小売業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ドラッグストア 調剤薬局の小売業の経営		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	3,971 t-CO <sub>2</sub>	4,643 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	4,742 t-CO <sub>2</sub>	5,463 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-12.5%	-17.0%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-12.3%	-15.3%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>出店による店舗数の増加と改装による大型冷蔵庫 大型冷凍庫の増加により増加した空調の老朽化による効率の悪化</p>
-------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

投資による省エネ（LED・空調機やり替え・デマンドコントローラーの設置）作戦を検討実施し、各店舗におきましてはエコリーダーの選任をし、空調の温度管理、冷蔵庫の温度管理、電気の消灯の遵守等を徹底的に実施し省エネ対策を継続的に講じていきます

# 実績報告書

届出者	住所	大阪府吹田市江坂町1-22-2	氏名	株式会社あきんどスシロー 代表取締役社長 水留 浩一
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		回転寿司の経営。  営業店舗： 北海道圏、東北圏、首都圏、中部圏、近畿圏、中国・四国圏、九州圏、沖縄に472店舗。		

## ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

### (2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	7,101 t-CO <sub>2</sub>	5,980 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	8,156 t-CO <sub>2</sub>	6,762 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

### (3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (2018年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	11.5%	20.6%	36.6%
削減率(平準化補正ベース)		10.5%	18.3%	37.6%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(大阪府内の店舗の総売上金額)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
見込み出店数及びそれぞれの事業所の見込み来客、売上高を参考にした。	

## ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

### (1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

事業所における省エネルギー活動維持の呼びかけを実施 開店前出来るだけエアコンの使用を抑える 客が帰った後、完全閉店までの間電気やエアコンの使用を抑える 開店時・閉店時以外は回転寿司レーンの使用抑える 尚、LPガス・都市ガスの使用は調理時必要に応じた場合のみ使用しているので余分使用は無いと思われます
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

各事業所に対して、省エネルギー活動推進の呼びかけを実施する。

---



# 実績報告書

届出者	住所	東大阪市柏田西2丁目17番35号	氏名	旭工精株式会社 代表取締役 西辻 毅
特定事業者の主たる業種		23非鉄金属製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		精密アルミダイカスト部品製造・加工		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	
2016年 4月 1日～	2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	5,901 t-CO <sub>2</sub>	5,902 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,320 t-CO <sub>2</sub>	6,295 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース) %	%	%	%
		削減率(原単位ベース) 6.1%	1.4%	2.4%	%
削減率(平準化補正ベース)		4.6%	1.8%	2.8%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 本社工場納入アルミインゴット重量 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>第2年度は2.4%の削減となっております。今後もより一層環境配慮行動を実施しCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めてまいります。</p>
-----------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

当社はISO14001を認証取得しており、3カ年の環境目標にて本社納入アルミインゴット量電力量27年度比3カ年で3%の削減目標を掲げており、30年度は27年度比3%の削減目標にて全社的に電力削減に取り組んでおります。

# 実績報告書

届出者	住所	東京都千代田区大手町2-6-1	氏名	朝日生命保険相互会社 代表取締役社長 木村 博紀
特定事業者の主たる業種		67保険業（保険媒介代理業、保険サービス業を含む）		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		生命保険業を主たる業務としている。その他、貸事務所業として大阪府内に投資用・投資兼用ビル所有している。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
---------	---------------------------------

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	5,750 t-CO <sub>2</sub>	5,778 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,640 t-CO <sub>2</sub>	6,890 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-1.8%	-0.5%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-2.0%	-3.8%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>これは基準年度と比較した場合、全体的にテナント入居率が増加していることに起因しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度(平成29年度)は平成28年度と比較しますと1.3%の削減となりました。 ※原油換算量としては0.5%増</li> <li>これは排出係数の低い電力会社への切り替え等を進めた結果です。</li> <li>・今後も空調機更新時には省エネルギーな機種への更新等を積極的に進めていく。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2) 推進体制

- ・全社的に温暖化対策に取り組むため、「朝日生命エコプロジェクト」を展開している。  
また、各種エネルギー使用量の削減を進め、環境に関する知識と意識の向上を推進するため、社内報等による啓発活動を実施していく。

# 実績報告書

		大阪府中央区本町2-1-6 堺筋本町センタービル11F	氏名	株式会社 アサヒディード 代表取締役社長 板倉 孝次
特定事業者の主たる業種		80娯楽業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		パチンコホールのプロデュース及びマネジメント 大阪・兵庫に全12店舗		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	5,815 t-CO <sub>2</sub>	5,544 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,850 t-CO <sub>2</sub>	6,491 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018 年度)	第1年度 (2016 年度)	第2年度 (2017 年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.1 %	5.9 %	4.7 %
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	6.5 %	5.3 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 延床面積 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度より各事業所に、エネルギー管理担当を設置し、節減アクションを実施</li> <li>・EHP設置の事業所においては、BEMSを導入し、効率化を図る</li> <li>・2016年度は、LEDの導入実施(IL貝塚店、IL御幣島店、IL池田店、IL東住吉店、IL茨木店)</li> <li>・2017年度は、空調機交換予定(IL阪急豊津店、E池田店)LEDの導入予定(IL阪急豊津店、IL泉佐野店、IL大和田店)</li> <li>・2017年度、空調交換(IL阪急豊津店、E池田店)、LED導入(IL阪急豊津店、IL泉佐野店、IL大和田店)</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

社内的にここ数年で、確実に節減への意識が高まってきており、オペレーションが確立されてきている。社内への情報発信と、設備機器の見直し(使用年数が大きく経過している設備)を実施し、適正に管理されている状態を目指していく

# 実績報告書

届出者	住所	東京都港区赤坂3-2-3	氏名	アパホテル株式会社 代表取締役 元谷 芙美子
特定事業者の主たる業種		75宿泊業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市開発（ホテル、アーバン・リゾート）事業。</li> <li>・全国243のホテルを運営中。 （平成29年7月末日現在、フランチャイズ含む）</li> <li>・大阪府内において11ホテルを運営中（直営）。</li> </ul>		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2016年	4月	1日	～	2019年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	6,152 t-CO <sub>2</sub>	8,501 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)	6,517 t-CO <sub>2</sub>	8,902 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018 年度)	第1年度 (2016 年度)	第2年度 (2017 年度)	第3年度 (2018 年度)
選択	レ	削減率 (排出量ベース)	%	%	%
		削減率 (原単位ベース)	3.0 %	-6.0 %	-16.9 %
削減率 (平準化補正ベース)		3.0 %	-6.3 %	-15.5 %	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( 客室数 )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>昨年も旅行客の増加に伴う稼働率の上昇、及び新規2ホテルの開業があり、CO<sub>2</sub>排出量の増加となった。昨年度、新規に2ホテルが開業したが、これらのホテルについては高効率機器の導入などもあり、他のホテルよりも1室当りのCO<sub>2</sub>排出量は少なくなっている。今後も新築工事や、改装を行う際の機器選定にあたっては省エネに考慮したものを選定していく必要がある。</p> <p>また、既存ホテルについても、CO<sub>2</sub>排出係数の低い供給業者との契約を進めたことで、CO<sub>2</sub>排出量の抑制につながった。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

各ホテルのエネルギー使用量を確認の上、おかしい点があるかどうかを管理することで、エネルギーの無駄な使用を抑え、CO<sub>2</sub>排出量抑制に努めていきたい。



## 実績報告書

届出者	住所	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1	氏名	あべのルシアス管理組合 管理者 株式会社きん 代表取締役社長 田中 耕造
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		あべのルシアス管理組合は区分所有者によって結成され、ビルの管理・運営を行っている。		

### ◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間				
2016年	4月	1日	～	2019年 3月 31日 (3年間)

#### (2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	4,520 t-CO <sub>2</sub>	4,590 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	4,940 t-CO <sub>2</sub>	5,034 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

#### (3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-3.7%	-1.6%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-3.9%	-2.0%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

### ◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

#### (1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>空調制御設備の更新やLEDの導入により改善に努め、昨年よりは減少したが、涼しかった基準年度を下回ることはできなかった。</p>
--------------------------------------------------------------------

## (2) 推進体制

あべのルシアスの管理者である㈱きんえいは、全社的に温暖化対策に取り組むため、社長を委員長とする環境対策推進委員会を設置、日常の管理委託をしている近鉄ビルサービスの中央監視室設備員も含めて対策の推進状況を確認するとともに、改善策について検討している。

## 実績報告書

届出者	住所	大阪府堺市堺区築港八幡町138-7	氏名	アマゾンジャパン合同会社 代表社員 ジェフリーハヤシダ
特定事業者の主たる業種		47倉庫業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		販売用商品の保管と発送を、大阪府下2事業所で行った。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	5,628 t-CO <sub>2</sub>	6,208 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,306 t-CO <sub>2</sub>	6,931 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	-10.6%	-10.4%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-9.9%	-10.0%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	( )
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>入出荷量の増加に伴い、搬送設備負荷および中間期以外の空調負荷も増大しているものの、アイドルタイムの削減などにより、お客さまにお届けする1商品当たりの排出量は削減できている。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

統括管理により各事業所とも2ヶ月1回温暖化防止に関する指導を実施する。

# 実績報告書

届出者	住所	北海道札幌市白石区菊水6条3丁目1-26	氏名	株式会社アレフ 代表取締役社長 庄司 大
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ハンバーグ専門レストラン「びっくりドンキー」をはじめとする外食チェーン本部。昭和43年創業、昭和51年設立。全国で342店舗を出店し、うち、大阪府内ではびっくりドンキー36店舗（直営5店、FC31店）の出店を行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間	2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)
---------	---------------------------------

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度( 2015 )年度	前年度( 2017 )年度
温室効果ガス総排出量	7,428 t-CO <sub>2</sub>	7,166 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	8,279 t-CO <sub>2</sub>	8,004 t-CO <sub>2</sub>
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO <sub>2</sub>

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 (2018年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース) %	%	%	%
	レ	削減率(原単位ベース) 3.0%	1.4%	4.8%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	1.4%	4.6%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(大阪府内の店舗の総売上金額)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>温室効果ガス排出量が、基準年度比3.3%減、前年度比2.6%減でした。密接な関係を持つ売上金額が基準年度比、前年度比とも若干増加したことにより、原単位が改善されたことが4.8%削減の大きな要因と考えられます。引き続き、管理標準の遵守の徹底や高効率の空調設備への更新と給排気バランスの改善により温室効果ガスの削減を進めていきます。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 推進体制

本部に省エネルギー推進専門部署を設置し、店舗・事業所の省エネルギーを推進しています。